



**Tourism  
Resilience**  
観光レジリエンス

# 観光レジリエンスサミットの の概要について

---

仙台市文化観光局

## 開催日程、会場、参加者

- 開催日程 令和6年11月9日(土)～11日(月)
- 会場 【閣僚会合】仙台国際センター 【歓迎レセプション・宿泊】伝承千年の宿 佐勘
- 参加者 ASEAN・太平洋地域等の国・関係機関

## 会合のテーマ

自然災害やコロナ等の危機に対する観光分野の強靱性(レジリエンス)の強化

## ロゴマーク



Tourism Resilience

- レジリエンスの「回復力」と「強靱性」がもたらす無限の可能性により、観光における活力が再生し、途切れることなく循環し継続していくよう願いが込められている。
- 複数の線は、観光レジリエンスに関わる人々・組織をはじめ、さまざまな関係者がこの問題に取り組んでいく強い意志を表現している。

## 期間中の日程

	午前	昼	午後	夜
9日(土)	10:00~14:00 仙臺緑彩館歓迎イベント 【緑彩館】		14:00~17:00 世界観光機関主催 シンポジウム 【国際C】	19:00~21:00 歓迎レセプション 【佐勘】
10日(日)	9:00~12:00 閣僚会合 【国際C】	12:30~14:00 昼食会 【国際C】	14:30~15:00 公式記者会見 【国際C】	
			14:30~ エクスカーション(市内・市外)	

※ 11日(月)は、国主催の市外エクスカーション(2日目)のみ

※ 赤字は、国等の主催事業

※ 青字は、本市主催事業

## 受入環境整備協力

安全で快適な受入環境の整備に向けて、地元の関係機関・団体の皆さまに地元連絡会に参加いただき、受入環境やおもてなし環境の整備、開催機運の醸成等の取組みを行った。

- 駅や空港の受入体制整備
- 会合期間中の警備体制構築
- サミットに関する情報発信 ほか



## シティドレッシング

市民の皆さまに向けた開催周知、開催機運醸成と、参加者への歓迎の意を表するため、市街へのシティドレッシングを10月12日から順次実施。

- 横断幕(ハピナ名掛丁)
- 市役所本庁舎仮囲い
- JR仙台駅東口フロアシート
- 青葉通フラッグ
- 仙台空港歓迎看板



フロアシート



横断幕

## 紙面での発信

10月31日号の河北Weeklyにて、観光レジリエンスの関連記事を掲載予定

その他市政だより11月号にて、サミット関連事業を紹介予定

## カウントダウンボード

- 市役所本庁舎東側
- 仙台国際センター
- 秋保・里センター

上記3か所に設置中



## 語学ボランティア

サミットの開催期間中、会合会場やレセプション会場等で参加者をご案内する語学ボランティアの皆さまへ、研修等を実施。

市の観光の魅力等の発信にご協力いただく。



研修会(9月23日、28日)

結団式: 10月26日(土)

- 40名程度が参加予定
- ボランティアジャンパーを配付



## 子どもたちによる歓迎こけしの制作

実施日 9月24日(火)

会場 宮城県立秋保かがやき支援学校

秋保かがやき支援学校の子どもたちが、レセプションの会場である伝承千年の宿 佐勘に展示するこけしの絵付けを実施。

参加者への歓迎の気持ちを込めて、個性あふれる素敵なこけしを制作いただいた。



展示終了後は、展示された様子などの写真やメッセージを添えて、子どもたちへ返却する。

## ● 11月9日 10:00~14:00 AOBAYAMA MORNING

会合参加者やシンポジウムの関係者に、日本文化や地元の食材を使ったビュッフェをお楽しみいただくイベントを仙臺緑彩館にて実施。

市民の皆さまも参加可能な復興の取組みや観光レジリエンスに関する講演会を実施。

- 日本文化体験  
(着物着付け体験、お茶体験、風呂敷包み体験)
- 地元食材を活用したビュッフェ



(イメージ)



### 【サミット開催記念講演会】

市民も聴講可

- 二華高校による「防災ミュージアムの歩き方」研究発表
- 3.11伝承ロード推進機構の取組み
- 東部海浜エリアの賑わい 等



(イメージ)

### 子ども記者による取材

エコファミリーしんぶんの子ども記者が会議参加者等取材し、後日、当日の様子を記事に掲載する。



(イメージ)

## 歓迎レセプション 11月9日 19:00~21:00

地元の食材を使用したお食事を着席にてゆっくりとご堪能いただき、すずめ踊りや和太鼓の演奏により、仙台・宮城のお祭り・伝統文化を体験していただく。

(アトラクション予定)

- 仙台フィルハーモニーによる弦楽四重奏演奏
- すずめ踊り演舞
- 閑上太鼓保存会による和太鼓演奏



## 展示ブース

場所: 伝承千年の宿 佐勘1Fロビー

- 仙台・東北の観光パネル・祭り衣装の展示
- 仙台・東北の伝統工芸品の展示
- 本市の復興のあゆみ・防災の取組みパネルの展示
- 秋保かがやき支援学校制作のこけしの展示 等



【G7時の参考写真】

# 期間中の取組み③(閣僚会合等)

## 閣僚会合での発信

11月10日 9:00~12:00

- 市長による**基調講演**を予定

本市の東日本大震災からの復興の歩みや防災環境都市の取り組みなどを、参加される各国や関係機関に発信。

東部海浜エリアの賑わい創出や観光危機管理マニュアルなど、現在の取り組みも紹介し、災害の多いアジア各国の参考にさせていただく。



(イメージ)

## (参考)世界観光機関主催シンポジウム

11月9日 14:00~17:00

日本の観光分野における東日本大震災からの復興の経験、能登半島地震における対応、海外の先進的な取り組み等を共有し、観光レジリエンスの重要性の再認識と具体的な取り組みの実践を促進する。

### 主なプログラム

①基調講演	国連防災機関神戸事務所代表 松岡 由季 氏
②パネルセッションⅠ	テーマ:観光危機発生時への備えー観光客・旅行者の安全と安心を確保するために必要なことー
③パネルセッションⅡ	テーマ:危機後の事業継続と復興への備えー観光地・観光事業者への影響を最小限にするために必要なことー

◎事前申込により聴講可



## 参加者への記念品

【閣僚級】

ガラス工房 元「ガラス万華鏡」



工芸作家の佐藤元洋氏は秋保町生まれで、現在秋保に工房を構える。宙吹ガラスの手法を使い、ガラスと万華鏡が優美に融合する独自の世界を開拓。万華鏡世界大会など世界で数々の賞を受賞。

【参加者用】

東北工芸製作所「玉虫塗マルチペン」



宮城県指定伝統工芸品の「玉虫塗」が施されたマルチペン。羽生結弦選手が国民栄誉賞を受賞した際に、復興庁より記念品として贈呈された。

## コンgresバッグ

参加者に、以下を同梱したコンgresバッグを配布予定。

- 仙台・東北の観光パンフレット
  - 防災の取組み等パンフレット
  - るーぷる仙台・地下鉄共通一日乗車券
  - サミットロゴ入り付箋
  - 以下の案内チラシ
- ・無料での瑞鳳殿・博物館見学
  - ・食べ歩きグルメ券

(ずんだシェイク・ひょうたん揚げ)



## エクスカーション(10日午後) ～震災の教訓と復興の歩み、自然と文化を体験～

～震災の脅威を知る～

### ●震災遺構 仙台市立荒浜小学校

被災した校舎を見学し、津波の脅威と震災の教訓を伝える。



～東部沿岸部の賑わいを実感～

### ●JRフルーツパーク仙台あらはま

観光農園の見学、被災地の賑わいづくりを進める事業者の取り組みを発信。



～仙台名物を味わう～

### ●鐘崎総本店 笹かま館

笹かま作り体験、食品サンプル作り体験を実施。



～復興を象徴する水族館～

### ●仙台うみの杜水族館ディナー

大水槽の前でのビュッフェ、いわしのショー等を実施。



～海から山へ 自然豊かな仙台を体感～

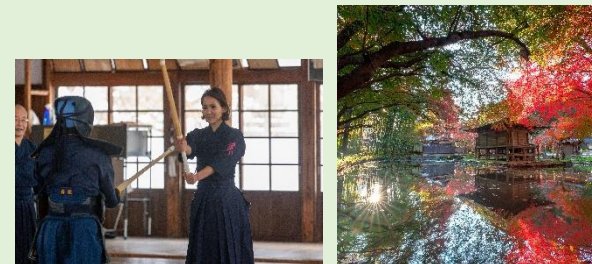
### ●秋保ナイトミュージアム 見学

この時期だけの、ライトアップされた紅葉の中を散策。



別途、1泊2日で国主催のエクスカーションも実施される。

「平泉・松島コース」と「仙台・会津若松コース」の2コースを予定。



## 観光危機管理ワークショップ(全3回)

サミットの開催を契機に、観光関連事業者向けに、観光危機管理について学ぶワークショップを開催

- 事業継続計画(BCP)策定に関する講習や、防災に関する先進的な取り組み事例等を紹介
- 仙台市で策定する観光危機管理マニュアルについての意見交換を実施

(第1回)7月17日	【講習】 観光危機管理の重要性、BCP策定のすすめ
(第2回)8月22日	【事例紹介】危機対策の災害時に役立つアプリ、プラットフォームの紹介 交通事業者の災害対応計画 【意見交換】仙台市の観光危機管理マニュアルについて
(第3回)10月3日	【講習】 仙台防災枠組講座 【事例紹介】被災時の対応(和倉温泉)、運送事業者のBCP策定事例 【意見交換】仙台市の観光危機管理マニュアルについて 等



「観光レジリエンスサミット」開催記念  
第3回観光危機管理ワークショップx仙台防災枠組講座  
～観光・復旧事業の災害への見えを学ぶ～

日時 2024年10月3日(木)  
13:30～16:00

場所 TKPリーディングセンター PREMIUM仙台西口 カンファレンスルーム7C

対象 仙台市内の観光事業者、観光関連団体 など

プログラム

1. 観光事業者の防災意識の向上  
2. 仙台市観光局の防災意識の向上  
3. 仙台市観光局の防災意識の向上

コーディネーター紹介  
仙台市観光局 観光政策課 課長 佐藤 浩一

スピーカー紹介  
仙台市観光局 観光政策課 課長 佐藤 浩一



ワークショップの様子  
←第3回チラシ

### 会合終了後の取り組み

- 12月 市民・事業者向け 観光危機管理セミナー・仙台防災枠組講座
- 3月 世界防災フォーラムへの出展

開催効果を高め、発展させていく

## 観光危機管理マニュアル

観光庁において、令和4年3月に「観光危機管理計画等作成の手引き」を策定し、自治体等の観光危機への備えを推進。サミットの開催を契機に、本市においてもこの手引きを元に、観光分野の危機対策を整理し、特に外国人旅行者への対応を強化することを目的に、観光危機管理マニュアルを作成。

### ● マニュアルの概要

- |    |   |
|----|---|
| 総則 | <ul style="list-style-type: none"><li>✓ インバウンド客等の交流人口拡大を見据え、あらかじめリスクを想定し、対策をまとめる</li><li>✓ 地域防災計画等を基に、観光分野に特化した対応策を整理</li></ul> |
|----|---|

- |           |  |
|-----------|--|
| リスク<br>想定 | <ul style="list-style-type: none"><li>✓ 観光エリアと想定される災害</li><li>✓ 災害等が発生した際の旅行者・事業・従業員への影響について 等</li></ul> |
|-----------|--|

対応方針：リスクを踏まえ、以下の4つのフェーズに整理し、対応していく

- |           |                              |
|-----------|------------------------------|
| 1 減災対策    | 観光インフラの強化 等                  |
| 2 危機対応の準備 | 危機対応時の役割分担の整理、外国語対応用ツールの整備 等 |
| 3 危機への対応  | 情報収集・発信フローの整理、外国人旅行者への対応 等   |
| 4 危機からの復興 | プロモーション、風評被害対策 等             |

## ● マニュアルのポイント

### 1 情報収集・発信

- ✓ 情報収集・発信先および使用する媒体を整理
- ✓ 災害時の宿泊施設等の情報収集に(一社)日本旅行業協会作成のプラットフォームを活用した一元的な収集を実施

### 2 外国人対応

- ✓ 多言語アプリや自治体国際化協会の指差し確認ボードの利用を促進。
- ✓ 観光窓口等に掲示することで、外国人旅行者が自ら必要な情報を収集できるよう、災害時に役立つ多言語のWebサイト集を作成

### 3 観光事業者との連携

- ✓ 災害時の連携先(観光事業者)と連携内容を整理し、今後も連携の強化を進めていくことを明記

### 4 プロモーション

- ✓ 能登半島地震で被害の少なかった金沢市でも観光客が大きく減少した状況も踏まえ、状況に応じて、積極的に安全・安心な観光が可能であることを発信するなどのプロモーションを実施



多言語Webサイト集

訓練等を踏まえ、今後も適宜内容を更新していく。